

(1) 概況

平成20年の大分県鉱工業生産指数（平成17年＝100）は、図1で見られるように107.0で前年比▲4.5%と、平成17年基準改定以後初めての低下となった。

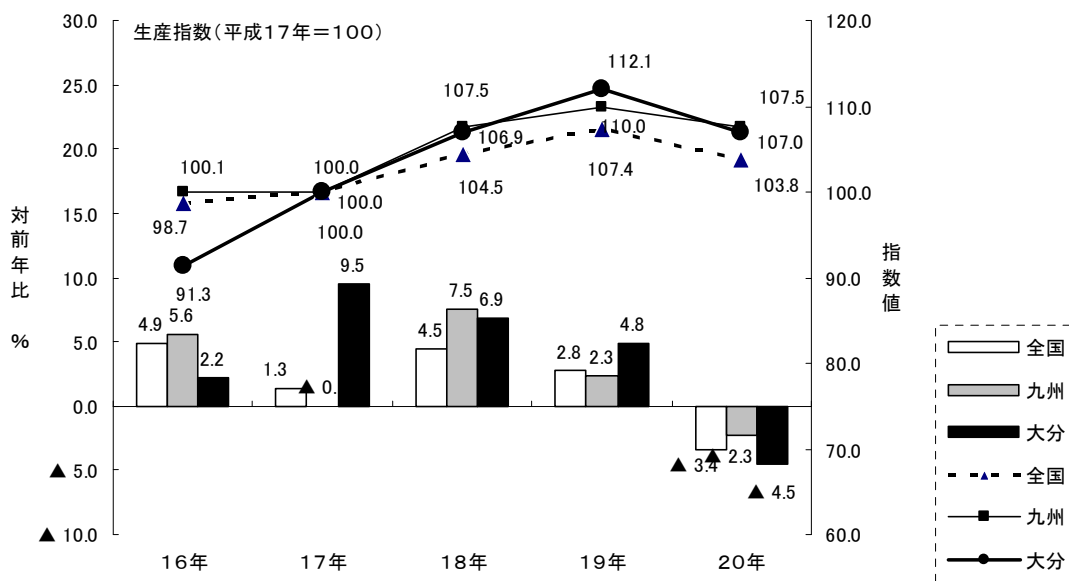
全国の生産指数は103.8で前年比▲3.4%と、平成17年基準改定以後初めての低下となった。九州は107.5で前年比▲2.3%と3年ぶりの低下となった。

生産指数を業種別にみると、前年に比べ、電気機械工業、精密機械工業、一般機械工業、金属製品工業の4業種が上昇し、木材・木製品工業、電子部品・デバイス工業、家具工業等、16業種が低下した。財別では最終需要財が平成17年基準改定以後初めての低下、生産財は4年ぶりの低下となった。

出荷指数は、107.4で前年比▲4.2%となり、平成17年基準改定以後初めての低下となった。業種別にみると、前年に比べ、電気機械工業、輸送機械工業、精密機械工業等6業種が上昇し、木材・木製品工業、電子部品・デバイス工業、化学工業等14業種が低下した。

在庫指数は、99.7で前年比▲3.0%となり、2年ぶりの上昇となった。業種別にみると、前年に比べ、非鉄金属工業、精密機械工業、その他製品工業等11業種が上昇し、一般機械工業、繊維工業、窯業・土石製品工業等7業種が低下した。

図1 生産指数及び対前年比の推移（統計表1）



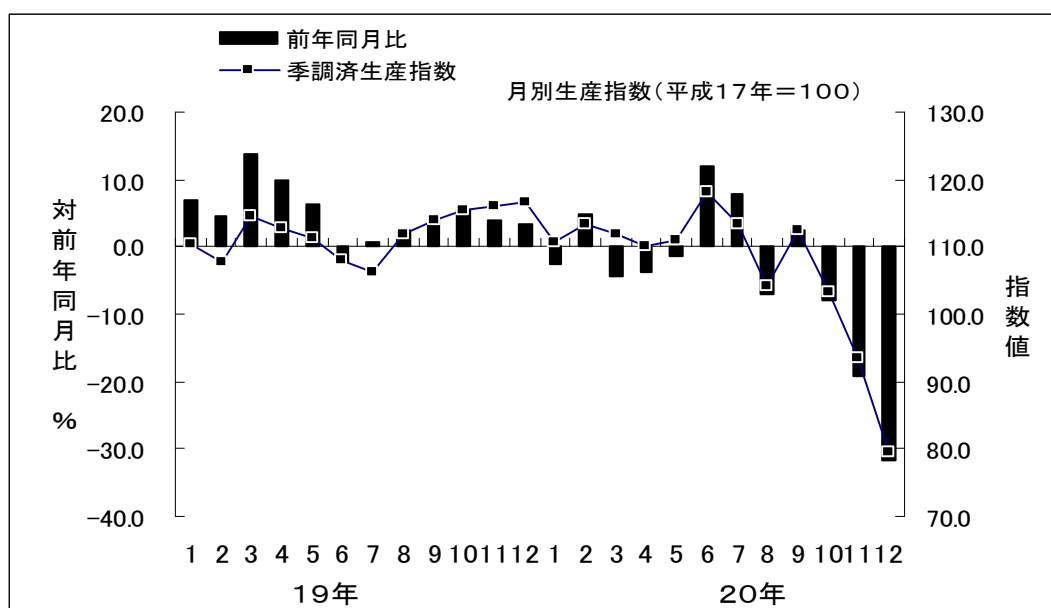
(ア) 生産活動の特徴

I 生産指数は急激に低下

図2は、月別の生産指数（季節調整済指数）と各月の前年同月比（原指数）の推移を示したものである。

平成20年は、6月に過去最高を記録するなど9月まで高水準を保ったが、10月から生産指数は急激に低下した。

図2 月別生産指数（季節調整済指数）及び対前年同月比（原指数）の推移
(統計表7)



II 年平均生産指数は平成17年基準改定以後初めての低下

平成20年平均生産指数は107.0で、対前年比▲4.5%と平成17年基準改定以後初めての低下となった。

III 4業種が上昇、16業種が低下

平成20年平均生産指数を業種別にみると、精密機械工業が3年連続上昇するなど、20業種中4業種が上昇した。一方、繊維工業が5年連続、食料品工業が4年連続低下するなど、16業種が低下した。

上昇した4業種は、電気機械工業(対前年比124.0%)、精密機械工業(同8.0%)、一般機械工業(同5.4%)、金属製品工業(同0.8%)であり、低下した16業種的主要業種は、木材・木製品工業(同▲20.1%)、電子部品・デバイス工業(同▲13.9%)、家具工業(同▲13.1%)などである。

(イ) 四半期別の動向

表1は、平成20年の四半期別生産指数の推移を示したものである。

本県においては、Ⅱ期は前期比で上昇したものの、Ⅰ期、Ⅲ期、Ⅳ期は前期比で低下した。

業種別四半期別の動向は、表2のとおりである。

表1 四半期別生産指数（季節調整済）の推移（統計表10）

区分	全国		九州		大分		
	指数	前期比 (%)	指数	前期比 (%)	指数	前期比 (%)	前年同期比 (%)
20年1～3月	109.5	0.3	111.1	▲1.3	112.0	▲3.5	1.0
4～6月	108.1	▲1.3	111.1	0.0	113.0	1.0	2.0
7～9月	104.6	▲3.2	109.2	▲1.7	110.0	▲2.7	▲0.6
10～12月	92.8	▲11.3	98.0	▲10.3	92.1	▲16.3	▲20.6

表2 業種別四半期別生産指数（季節調整済）の推移（統計表10）

業種別	生産指数				前期比 (%)			
	20年				20年			
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
鉱工業総合	112.0	113.0	110.0	92.1	▲3.5	1.0	▲2.7	▲16.3
製造工業	112.1	113.2	110.2	92.2	▲3.6	1.0	▲2.7	▲16.4
鉄鋼業	117.3	108.9	107.9	85.8	▲2.8	▲7.1	▲0.9	▲20.5
非鉄金属工業	116.6	125.0	119.2	106.9	▲1.7	7.2	▲4.7	▲10.3
金属製品工業	95.4	93.7	95.9	90.3	▲1.0	▲1.8	2.4	▲5.8
一般機械工業	110.5	115.4	115.0	107.1	8.7	4.4	▲0.3	▲6.9
電気機械工業	80.2	140.8	140.6	105.5	26.3	75.7	▲0.2	▲25.0
情報通信機械工業	152.4	156.9	146.6	93.9	▲3.8	3.0	▲6.6	▲35.9
電子部品・デバイス工業	98.3	99.3	94.2	73.5	▲5.2	1.0	▲5.1	▲21.9
輸送機械工業	140.6	134.3	138.2	131.2	▲11.1	▲4.4	2.9	▲5.1
精密機械工業	124.8	122.6	128.5	123.6	6.1	▲1.8	4.9	▲3.8
窯業・土石製品工業	88.0	85.4	88.5	89.9	▲5.6	▲2.9	3.6	1.7
化学工業	100.9	99.2	95.8	81.6	▲2.9	▲1.7	▲3.5	▲14.8
石油製品工業	96.8	84.6	93.7	96.8	2.3	▲12.6	10.7	3.3
繊維工業	55.9	58.0	49.6	44.8	5.8	3.6	▲14.4	▲9.7
木材・木製品工業	77.8	80.6	79.5	73.0	▲8.3	3.7	▲1.4	▲8.3
食料品工業	91.3	90.1	91.0	95.4	▲10.4	▲1.3	1.0	4.8
その他工業	99.2	96.7	96.1	88.9	1.2	▲2.6	▲0.6	▲7.6
パルプ・紙・紙加工品工業	97.1	96.6	99.4	89.8	0.2	▲0.5	2.9	▲9.7
家具工業	74.9	76.6	75.7	68.2	▲8.8	2.3	▲1.1	▲9.9
プラスチック製品工業	110.8	102.4	102.3	100.6	8.1	▲7.6	▲0.1	▲1.7
その他製品工業	90.7	92.5	88.5	71.6	▲7.6	2.0	▲4.4	▲19.1
鉱業	95.1	94.2	94.2	90.7	▲0.7	▲1.0	0.0	▲3.8

＜四半期別動向の詳細＞

I 1～3月期

生産指数は、112.0で前期比▲3.5%の低下となった。この期は、全20業種中7業種が上昇、13業種が低下となった。上昇した主な業種は、電気機械工業（前期比26.3%）、一般機械工業（同8.8%）、プラスチック製品工業（同8.0%）などである。

一方、低下した主な業種は、輸送機械工業（前期比▲11.1%）、食料品工業（同▲10.4%）、家具工業（同▲8.8%）などである。

II 4～6月期

生産指数は、113.0で前期比1.0%の上昇となった。この期は、全20業種中9業種が上昇、11業種が低下となった。上昇した主な業種は、電気機械工業（前期比75.6%）、非鉄金属工業（同7.2%）、一般機械工業（同4.4%）などである。

一方、低下した主な業種は、石油製品工業（前期比▲12.6%）、プラスチック製品工業（同▲7.6%）、鉄鋼業（同▲7.2%）などである。

III 7～9月期

生産指数は110.0で前期比▲2.7%となった。この期は、全20業種中7業種が上昇、鉱業が横ばい、12業種が低下となった。上昇した主な業種は、石油製品工業（前期比10.8%）、精密機械工業（同4.8%）、窯業・土石製品工業（同3.6%）などである。

一方、低下した主な業種は、繊維工業（前期比▲14.5%）、情報通信機械工業（同▲6.6%）、電子部品・デバイス工業（同▲5.1%）などである。

IV 10～12月期

生産指数は、92.1で前月比▲16.3%の低下となった。この期は、全20業種中3業種が上昇、17業種が低下となった。上昇した業種は、食料品工業（前期比4.8%）、石油製品工業（同3.3%）、窯業・土石製品工業（同1.6%）である。

一方、低下した主な業種は、情報通信機械工業（前期比▲35.9%）、電気機械工業（同▲25.0%）、電子部品・デバイス工業（同▲22.0%）などである。

(ウ) 業種別寄与率及び寄与度

総合の伸びに対して、その内訳である業種がどの程度影響を与えたかを示したものが寄与度である。

平成20年の生産指数は、前年比▲4.5%の低下となっている。この伸び率に対して上昇に寄与したものが4業種、低下に寄与したものが16業種となっている。

上昇に寄与した業種は、精密機械工業（寄与度0.6%）、電気機械工業（同0.6%）、一般機械工業（同0.3%）、金属製品工業（同0.0%）である。なお、精密機械工業と電気機械工業で上昇寄与全体の78%を占めている。

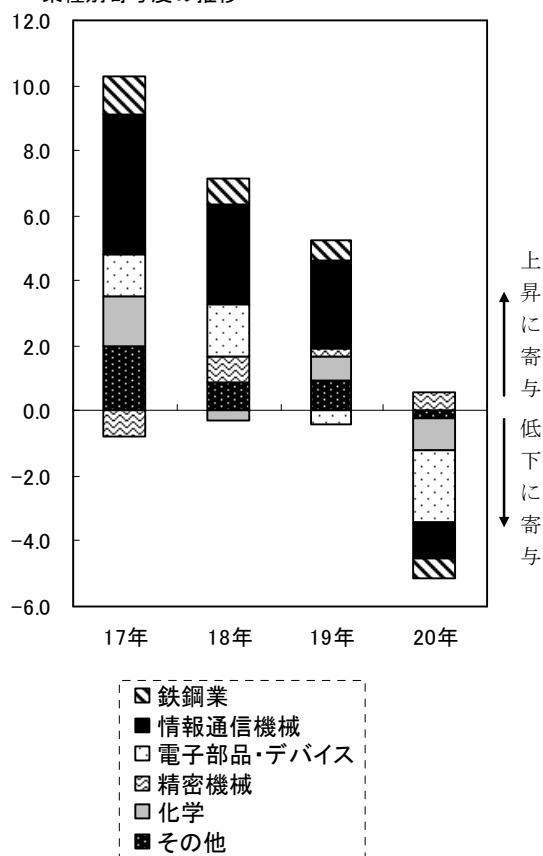
一方、低下に寄与した主な業種は、電子部品・デバイス工業（寄与度▲2.2%）、情報通信機械工業（同▲1.1%）、化学工業（同▲1.0%）などである。

また、図3は、その年の生産総合指数の伸びに対する業種別の寄与度について、平成17年以降の推移を示したものである。平成19年までは情報通信機械工業が大きく寄与していたが、平成20年は電子部品・デバイス工業が大きく寄与している。

表3 業種別寄与度表

業 種 別	寄与度(%)
鉄 工 業 総 合	▲4.5
製 造 工 業	▲4.4
鉄 鋼 業	▲0.6
非 鉄 金 属 工 業	▲0.2
金 属 製 品 工 業	0.0
一 般 機 械 工 業	0.3
電 気 機 械 工 業	0.6
情 報 通 信 機 械 工 業	▲1.1
電 子 部 品 ・ デ バ イ ス 工 業	▲2.2
輸 送 機 械 工 業	▲0.2
精 密 機 械 工 業	0.6
窯 業 ・ 土 石 製 品 工 業	▲0.3
化 学 工 業	▲1.0
石 油 製 品 工 業	▲0.0
織 維 工 業	▲0.0
木 材 ・ 木 製 品 工 業	▲0.2
食 料 品 工 業	▲0.2
そ の 他 工 業	▲0.1
パ ル プ ・ 紙 ・ 紙 加 工 品 工 業	▲0.0
家 具 工 業	▲0.0
プ ラ ス チ ッ ク 製 品 工 業	▲0.0
そ の 他 製 品 工 業	▲0.0
鉄	▲0.1

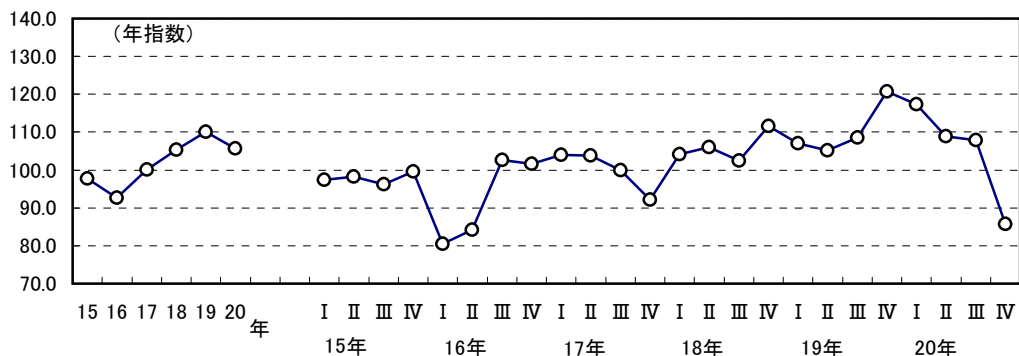
図3 鉄工業生産総合指数の伸びに対する業種別寄与度の推移



注) 本表は業種ごとに四捨五入しているの
内訳と合計が一致しないことがある。

(2) 業種別の生産動向 [年指数は原指数、四半期別指数は季節調整済指数 平成17年=100]

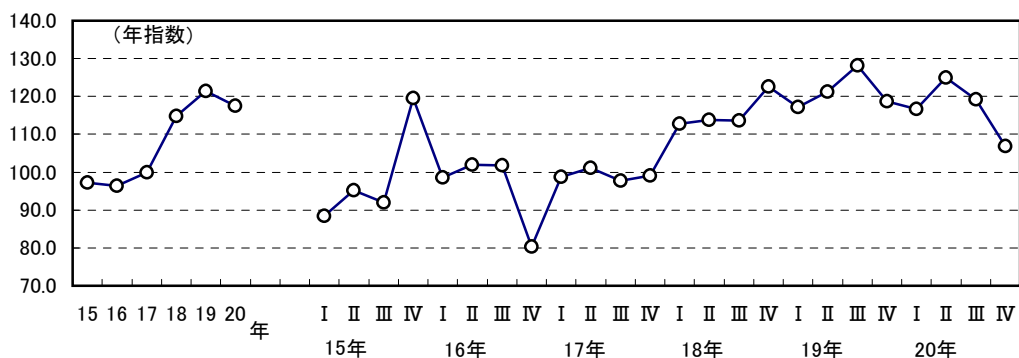
① 鉄鋼業



平成20年の鉄鋼業の生産指数は105.8で、前年比▲3.9%と4年ぶりの低下となった。

[鉄鋼業]	生産指数	前期比 (%)	前年(同期)比 (%)
20年	105.8	-	▲3.9
I期	117.3	▲2.8	9.5
II期	108.9	▲7.1	3.5
III期	107.9	▲0.9	▲0.5
IV期	85.8	▲20.5	▲28.9

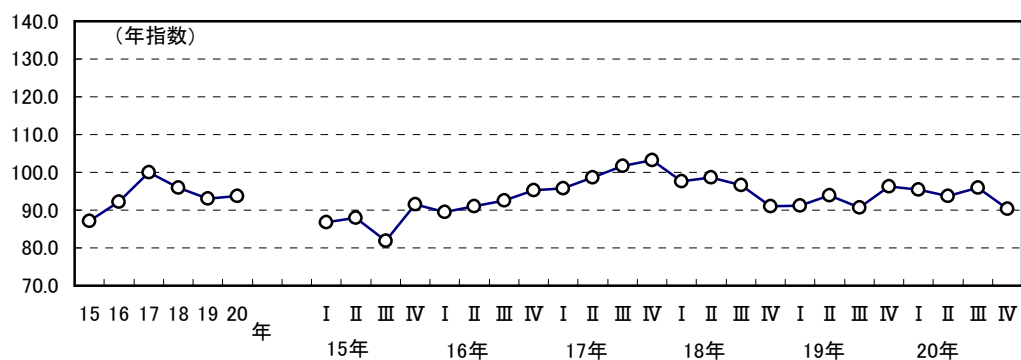
② 非鉄金属工業



平成20年の非鉄金属工業の生産指数は117.6で、前年比▲3.2%と4年ぶりの低下となった。

[非鉄金属工業]	生産指数	前期比 (%)	前年(同期)比 (%)
20年	117.6	-	▲3.2
I期	116.6	▲1.7	▲0.5
II期	125.0	7.2	3.1
III期	119.2	▲4.7	▲7.0
IV期	106.9	▲10.3	▲9.9

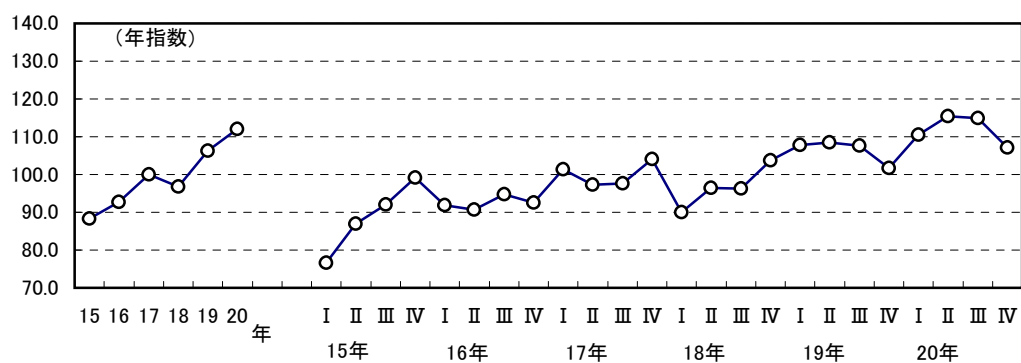
③ 金属製品工業



平成20年の金属製品工業の生産指数は93.7で、前年比0.8%とほぼ横ばいであった。

[金属製品工業]	生産指数	前期比 (%)	前年(同期)比 (%)
20年	93.7	-	0.8
I期	95.4	▲ 1.0	4.6
II期	93.7	▲ 1.8	▲ 0.3
III期	95.9	2.4	5.7
IV期	90.3	▲ 5.8	▲ 6.2

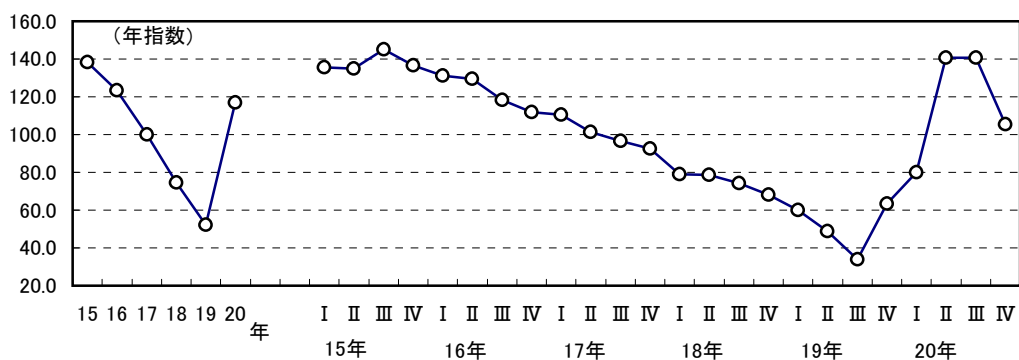
④ 一般機械工業



平成20年の一般機械工業の生産指数は112.0で、前年比5.4%と2年連続の上昇となった。

[一般機械工業]	生産指数	前期比 (%)	前年(同期)比 (%)
20年	112.0	-	5.4
I期	110.5	8.7	2.5
II期	115.4	4.4	6.3
III期	115.0	▲ 0.3	6.7
IV期	107.1	▲ 6.9	5.3

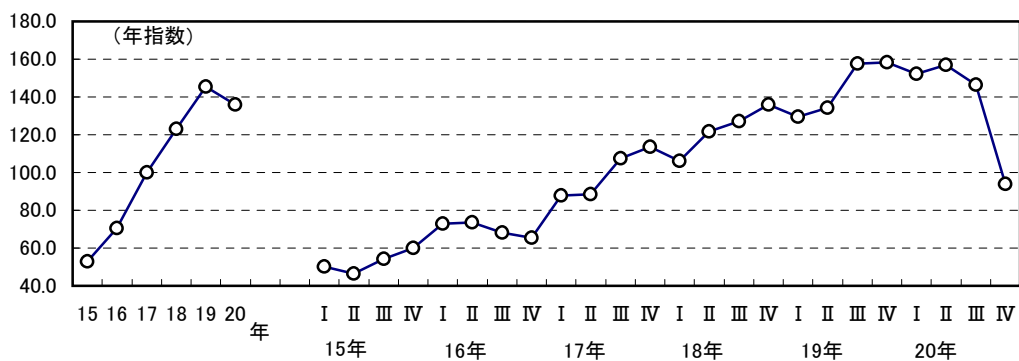
⑤ 電気機械工業



平成20年の電気機械工業の生産指数は117.0で、上半期には上昇したものの、第4四半期には下落した。

〔電気機械工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
20年	117.0	-	124.0
I期	80.2	26.3	33.7
II期	140.8	75.7	187.8
III期	140.6	▲ 0.2	313.4
IV期	105.5	▲ 25.0	66.2

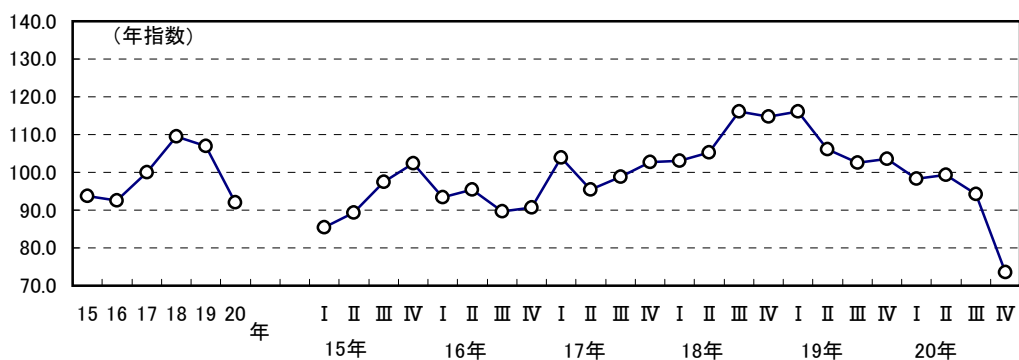
⑥ 情報通信機械工業



平成20年の情報通信機械工業の生産指数は135.8で、前年比▲6.6%と平成17年基準改定以後初めての低下となった。

〔情報通信機械工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
20年	135.8	-	▲ 6.6
I期	152.4	▲ 3.8	17.7
II期	156.9	3.0	16.7
III期	146.6	▲ 6.6	▲ 7.0
IV期	93.9	▲ 35.9	▲ 40.7

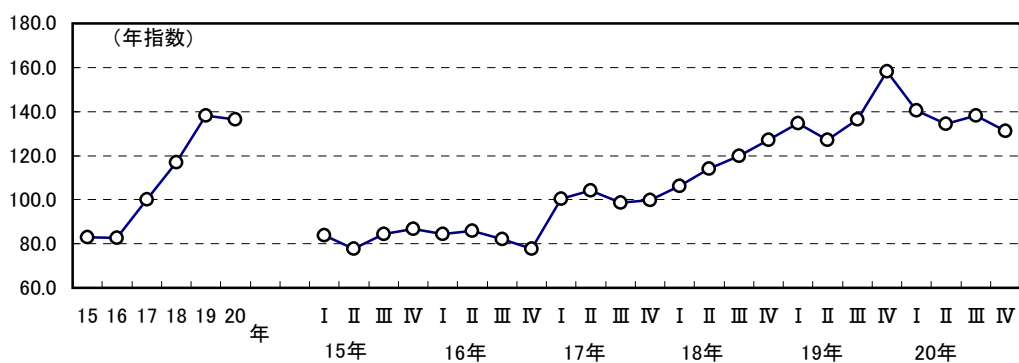
⑦ 電子部品・デバイス工業



平成20年の電子部品・デバイス工業の生産指数は92.1で、前年比▲13.9%と2年連続の低下となり、平成16年の水準に戻った。

〔電子部品・デバイス工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
20年	92.1	-	▲ 13.9
Ⅰ期	98.3	▲ 5.2	▲ 15.4
Ⅱ期	99.3	1.0	▲ 6.4
Ⅲ期	94.2	▲ 5.1	▲ 8.1
Ⅳ期	73.5	▲ 21.9	▲ 29.1

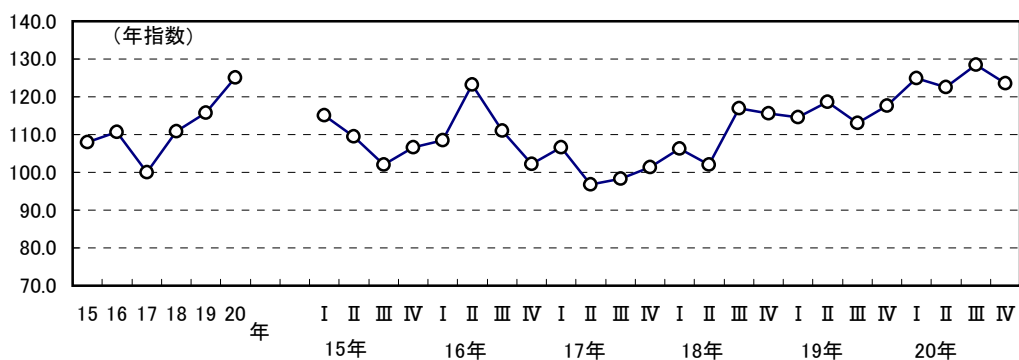
⑧ 輸送機械工業



平成20年の輸送機械工業の生産指数は136.4で、前年比▲1.3%と4年ぶりに低下したものの、依然高水準を保っている。

〔輸送機械工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
20年	136.4	-	▲ 1.3
Ⅰ期	140.6	▲ 11.1	4.5
Ⅱ期	134.3	▲ 4.4	5.7
Ⅲ期	138.2	2.9	1.4
Ⅳ期	131.2	▲ 5.1	▲ 17.1

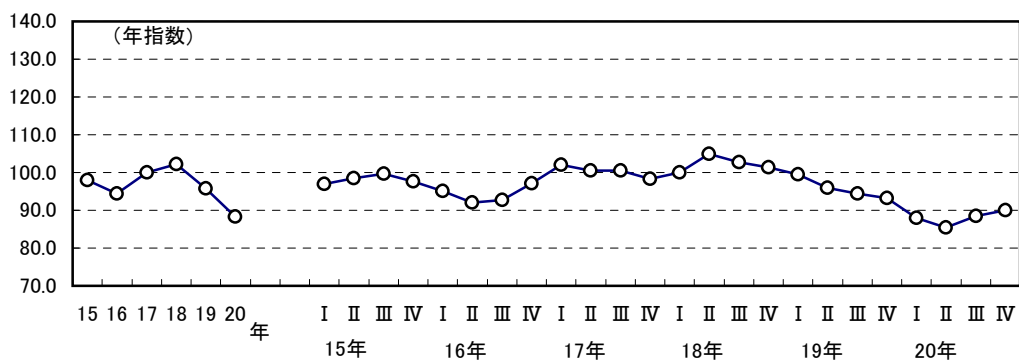
⑨ 精密機械工業



平成20年の精密機械工業の生産指数は125.0で、前年比8.0%と3年連続の上昇となった。

〔精密機械工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
20年	125.0	-	8.0
I期	124.8	6.1	9.0
II期	122.6	▲ 1.8	3.4
III期	128.5	4.9	13.8
IV期	123.6	▲ 3.8	5.0

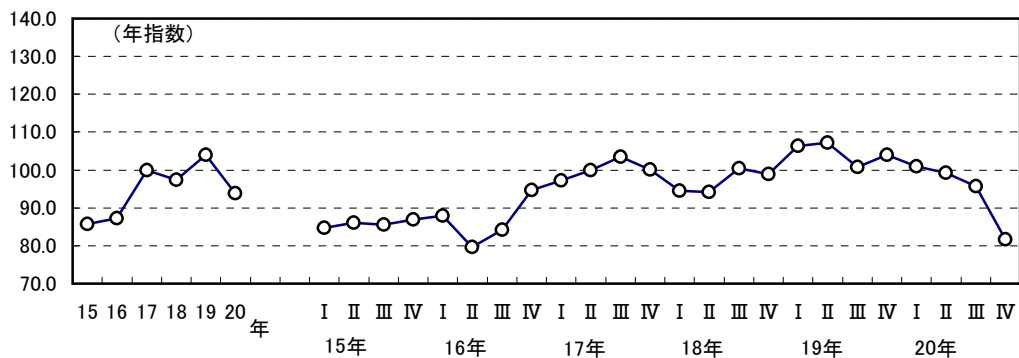
⑩ 窯業・土石製品工業



平成20年の窯業・土石製品工業の生産指数は88.2で、前年比▲7.8%と2年連続の低下となった。

〔窯業・土石製品工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
20年	88.2	-	▲ 7.8
I期	88.0	▲ 5.6	▲ 11.6
II期	85.4	▲ 2.9	▲ 10.9
III期	88.5	3.6	▲ 6.2
IV期	89.9	1.7	▲ 3.5

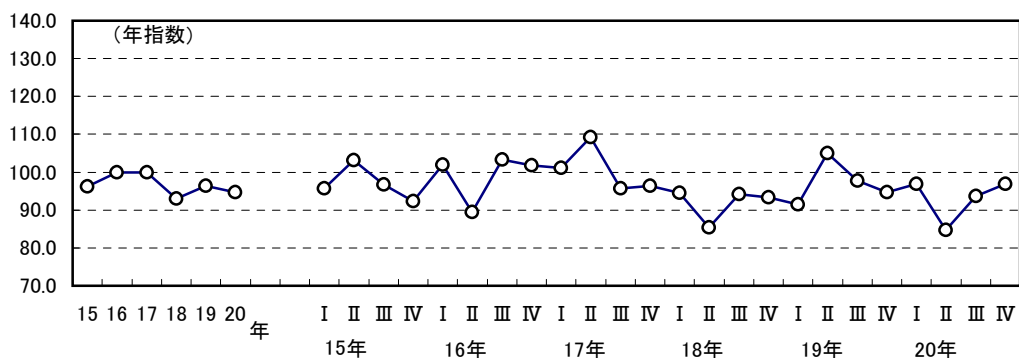
⑪ 化学工業



平成20年の化学工業の生産指数は93.9で、前年比▲9.7%と2年ぶりの低下となった。

[鉄鋼業]	生産指数	前期比 (%)	前年(同期)比 (%)
20年	93.9	-	▲ 9.7
Ⅰ期	100.9	▲ 2.9	▲ 5.2
Ⅱ期	99.2	▲ 1.7	▲ 7.4
Ⅲ期	95.8	▲ 3.5	▲ 5.0
Ⅳ期	81.6	▲ 14.8	▲ 21.5

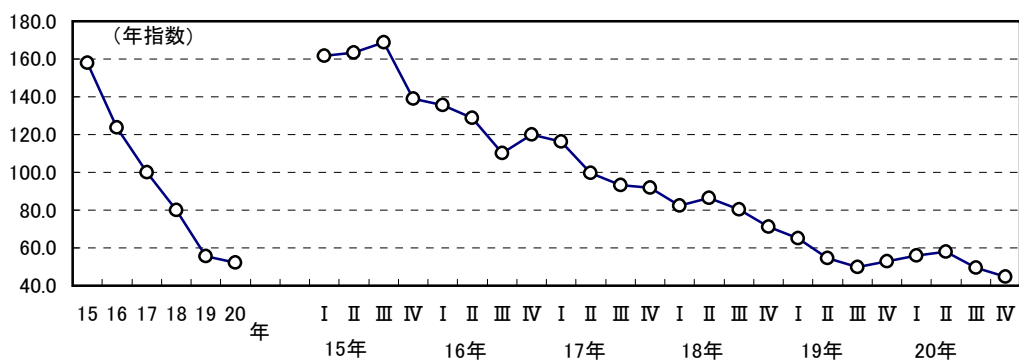
⑫ 石油製品工業



平成20年の石油製品工業の生産指数は94.7で、前年比▲1.7%となった。

[非鉄金属工業]	生産指数	前期比 (%)	前年(同期)比 (%)
20年	94.7	-	▲ 1.7
Ⅰ期	96.8	2.3	5.8
Ⅱ期	84.6	▲ 12.6	▲ 19.4
Ⅲ期	93.7	10.7	▲ 4.1
Ⅳ期	96.8	3.3	2.3

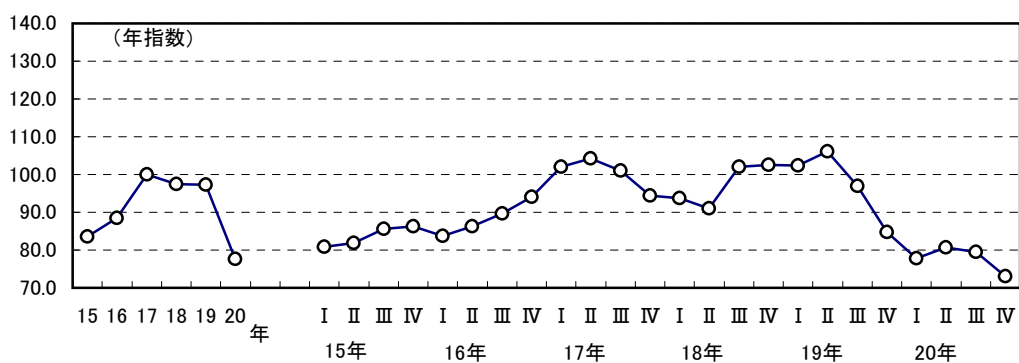
⑬ 繊維工業



平成20年の繊維工業の生産指数は52.1で、前年比▲6.3%と5年連続の低下となった。

〔金属製品工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
20年	52.1	-	▲ 6.3
I 期	55.9	5.8	▲ 13.9
II 期	58.0	3.6	6.0
III 期	49.6	▲ 14.4	▲ 0.5
IV 期	44.8	▲ 9.7	▲ 15.3

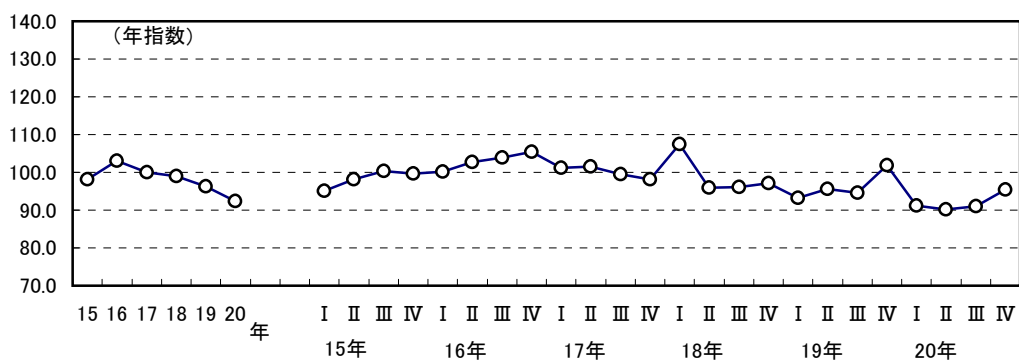
⑭ 木材・木製品工業



平成20年の木材・木製品工業の生産指数は77.7で、前年比▲20.1%と大幅低下となった。

〔一般機械工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
20年	77.7	-	▲ 20.1
I 期	77.8	▲ 8.3	▲ 24.1
II 期	80.6	3.7	▲ 24.0
III 期	79.5	▲ 1.4	▲ 18.0
IV 期	73.0	▲ 8.3	▲ 14.0

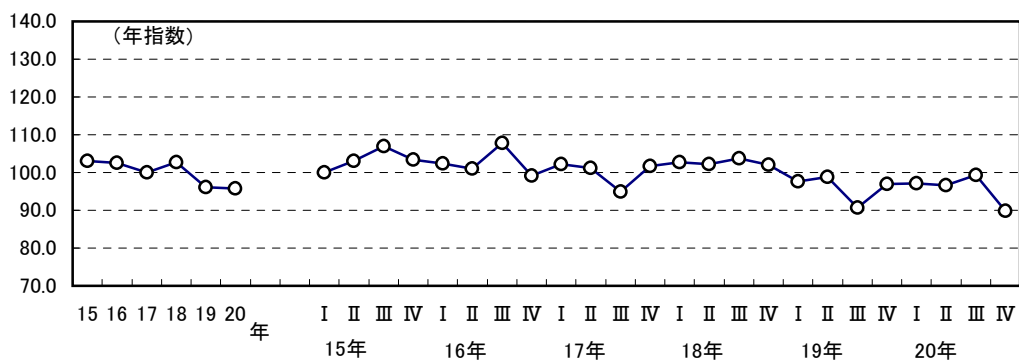
⑮ 食料品工業



平成20年の食料品工業の生産指数は92.3で、前年比▲4.1%と4年連続の低下となった。

〔電気機械工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
20年	92.3	-	▲ 4.1
I期	91.3	▲ 10.4	▲ 2.1
II期	90.1	▲ 1.3	▲ 5.7
III期	91.0	1.0	▲ 3.8
IV期	95.4	4.8	▲ 6.3

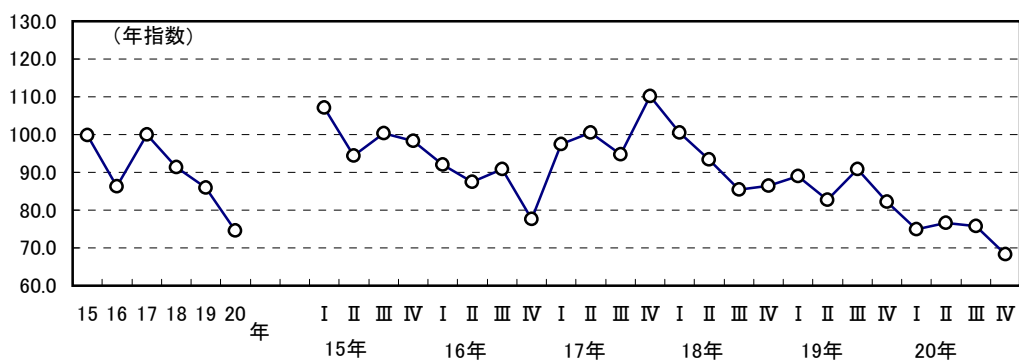
⑯ パルプ・紙・紙加工品工業



平成20年のパルプ・紙・紙加工品工業の生産指数は95.8で、前年比▲0.3%となった。

〔情報通信機械工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
20年	95.8	-	▲ 0.3
I期	97.1	0.2	▲ 0.5
II期	96.6	▲ 0.5	▲ 2.2
III期	99.4	2.9	9.7
IV期	89.8	▲ 9.7	▲ 7.3

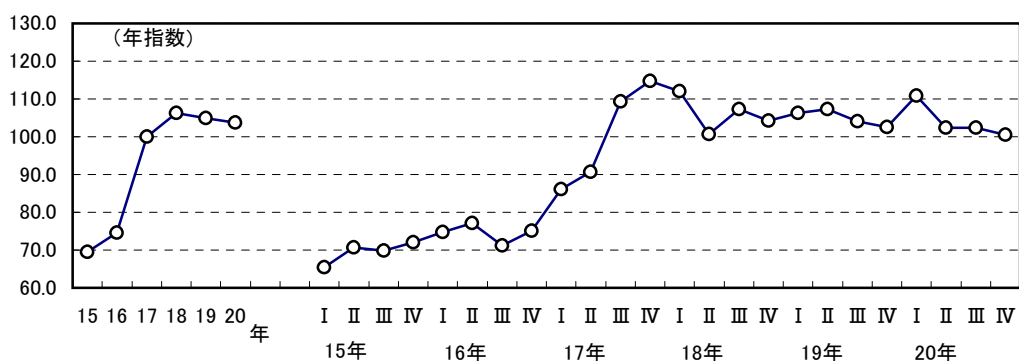
⑰ 家具工業



平成20年の家具工業の生産指数は74.6で、前年比▲13.1%と3年連続の低下となった。

〔電子部品・デバイス工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
20年	74.6	-	▲ 13.1
I期	74.9	▲ 8.8	▲ 15.8
II期	76.6	2.3	▲ 7.4
III期	75.7	▲ 1.1	▲ 16.7
IV期	68.2	▲ 9.9	▲ 16.9

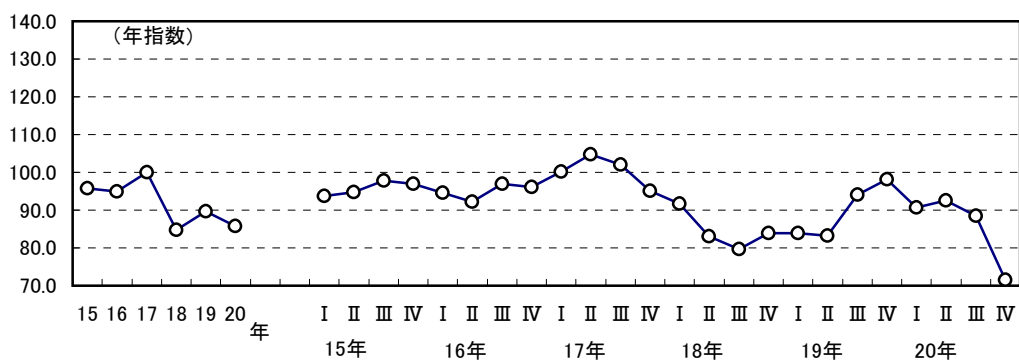
⑱ プラスチック製品工業



平成20年のプラスチック製品工業の生産指数は103.7で、3年間ほぼ横ばいの水準が続いている。

〔輸送機械工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
20年	103.7	-	▲ 1.2
I期	110.8	8.1	4.3
II期	102.4	▲ 7.6	▲ 4.5
III期	102.3	▲ 0.1	▲ 1.6
IV期	100.6	▲ 1.7	▲ 1.9

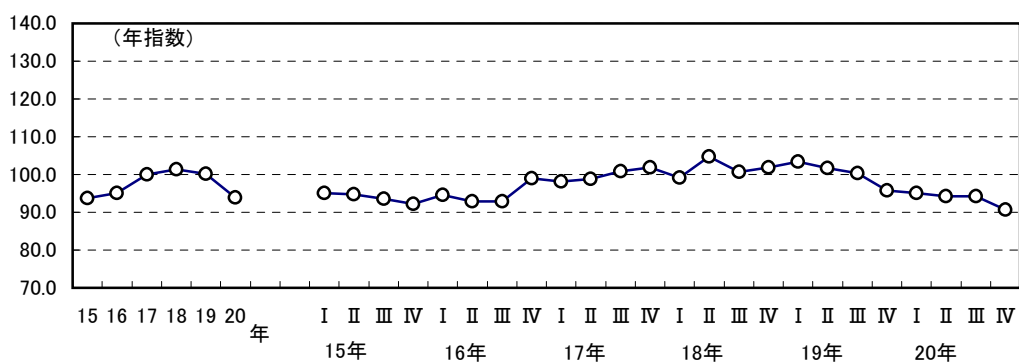
⑱ その他製品工業



平成20年のその他製品工業の生産指数は85.8で、前年比▲4.3%と2年ぶりの低下となった。

〔精密機械工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
20年	85.8	-	▲ 4.3
I期	90.7	▲ 7.6	8.2
II期	92.5	2.0	11.1
III期	88.5	▲ 4.4	▲ 5.9
IV期	71.6	▲ 19.1	▲ 27.0

⑳ 鉱業



平成20年の鉱業の生産指数は93.9で、前年比▲6.3%と2年連続の低下となった。

〔窯業・土石製品工業〕	生産指数	前期比 (%)	前年 (同期) 比 (%)
20年	93.9	-	▲ 6.3
I期	95.1	▲ 0.7	▲ 8.0
II期	94.2	▲ 1.0	▲ 7.4
III期	94.2	0.0	▲ 6.1
IV期	90.7	▲ 3.8	▲ 5.4

(3) 特殊分類（財別）の生産動向

特殊分類とは、それぞれの品目を経済的用途によって分類したものであり、その内容は表4のとおりである。

表4 特殊分類（財別）の分類定義

分類	定義
最終需要財	鉱工業又は他の産業に原材料として投入されない最終製品 ただし、建設財を含み、企業消費財を除く
投資財	資本財と建設財の合計
資本財	主として家計以外で購入される財で耐用年数1年以上の財
建設財	建築用と土木用の合計
消費財	主として家計で購入される財
耐久消費財	耐用年数が1年以上で比較的購入単価が高い製品
非耐久消費財	耐用年数が1年未満、又は比較的購入単価が安い製品
生産財	鉱工業及び他の産業に原材料として投入される商品 ただし、輸出用の中間生産物、企業消費財を含み、建設財を除く

図4は、平成15年以降の特殊分類（財別）生産指数の推移を表したものである。

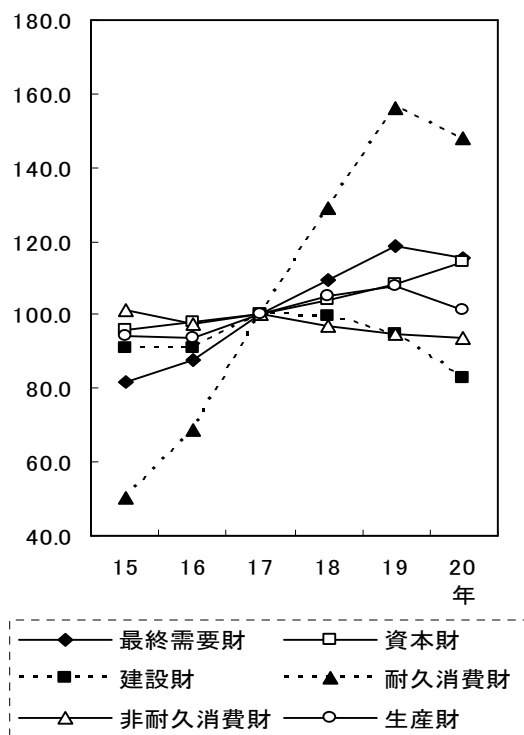
平成20年は、最終需要財は平成17年基準改定以後初めて低下し、生産財は4年ぶりに低下した。

表5 特殊分類（財別）生産指数

(統計表11)

分類	平成20年生産指数	前年比(%)
鉱工業総合	107.0	▲ 4.5
最終需要財	115.5	▲ 2.6
投資財	103.4	▲ 0.5
資本財	114.1	▲ 5.1
建設財	82.7	▲ 12.9
消費財	125.1	▲ 4.0
耐久消費財	148.0	▲ 5.3
非耐久消費財	94.0	▲ 1.0
生産財	101.2	▲ 6.0

図4 特殊分類（財別）生産指数の推移
(統計表11)



(ア) 最終需要財

I 投資財

投資財の生産指数は、103.4で前年比▲0.5%と平成17年基準改定以後初めての低下となった。内訳をみると、資本財の生産指数は、114.1で前年比5.1%と5年連続の上昇となり、建設財の生産指数は、82.7で前年比▲12.9%と3年連続の低下となった。

II 消費財

消費財の生産指数は、125.1で前年比▲4.0%と平成17年基準改定以後初めての低下となった。内訳をみると、耐久消費財の生産指数は、148.0で前年比▲5.3%と平成17年基準改定以後初めての低下となり、非耐久消費財の生産指数は、94.0で前年比▲1.0%と3年連続の低下となった。

(イ) 生産財

生産財の生産指数は、101.2で前年比▲6.0%と4年ぶりの低下となった。

図5は、総合生産指数の伸びに対する財別の寄与度について平成16年以降の推移を表したものである。平成20年は、生産財の及ぼす影響が非常に大きくなっている。

図5 鉱工業総合指数の伸びに対する財別寄与度の推移

